

独自調査で見えた

医学部予備校の勢力図

こんなに違う!

大手と
医専予備校

(出所)取材、調査票を基
に本誌作成

大手予備校	vs.	医学部専門予備校
70万～80万円	年間の授業料	100万～800万円
ハイレベルな現役生	主な生徒層	医者の子どもの浪人生
安定	講師の質	予備校によって玉石混交
50人程度の集団講義	主な授業構成	個別～少人数指導
国公立大学、私立御三家	主な目標大学	中堅～下位の私立医大

昨年、御茶ノ水に東京
校を開校した

医学部専門予備校

医学部受験
富士学院

東京校 2校

メディカルラボ

生徒数 982人

国公立合格者数 61人(6) 私立合格者数 331人(54)

浪人生授業料 約700万～800万円 現役生授業料 約300万円

名古屋発祥の医専大手。一对一の個別指導。本部が講師を派遣する特殊なFC(フランチャイズ)方式で拡大



2006年に設立された名古屋駅前の本校

富士学院

生徒数 346人(340人)

国公立合格者数 17人(7) 私立合格者数 117人(20)

浪人生授業料 約190万～360万円 現役生授業料 約100万円

福岡発祥の医専大手で西日本中心に展開。面接指導など生徒に手厚い

YMS

生徒数 147人

国公立合格者数 7人(2) 私立合格者数 91人(0)

浪人生授業料 約300万円 現役生授業料 約150万円

都内の有力医専。入学希望者に面接付きの選抜試験を実施

メルリックス学院

生徒数 252人(117人)

国公立合格者数 1人(1) 私立合格者数 47人(44)

浪人生授業料 210万～504万円 現役生授業料 97万円

都内の有力医専専門。情報収集に強く、私立医大の推薦入試でトップ実績

メビオ

生徒数 130人(120人)

国公立合格者数 6人(2) 私立合格者数 60人(47)

授業料 —

1980年創立。大阪の有力医専。1コマ3時間半の集中授業に特徴

合格できるなら医学部に入れる実力がある

(本誌・石阪友貴、秦卓弥)

予備校を選ぶ際に注意したいのが、いわゆる悪徳予備校の存在だ。医学部受験をうたう予備校は都内だけで100以上あるといわれ、入れ替わりが激しい。中には、事前に説明のない追加講習で高額な授業料を次々に請求するなど悪質な例がある。「泣いて駆け込んでくる親と生徒は後を絶たない」(富士学院の坂本友寛学院長)。

ちなみに本誌が送ったアンケートの回収率は半分以下。それだけ、本当の数字を答えない予備校が多かったということだろう。